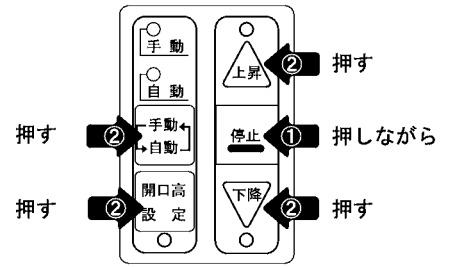


1 上限/下限停止位置設定

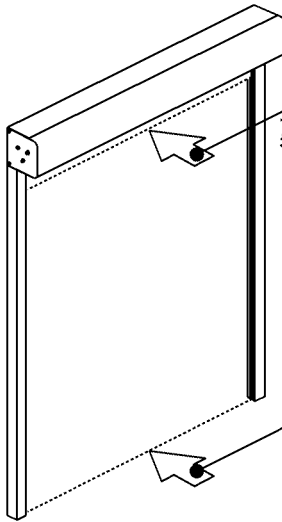
① 運転モードから設定モードに切り替える

手動 または 自動 のランプが点灯している事を確認の上、**停止**スイッチを押しながら残り全てのスイッチ、**上昇**・**下降**・**開口高設定**・**手動/自動**を同時に3秒以上押し続けてください。

「ピー」というアラーム音が鳴ると共にパネルの5つのランプが全て光り、手を離すと全て消え設定モードになります。



② 設定モードで上限・下限停止位置の設定を行う



上限停止位置
巻き取りボックス下から100mmの位置

下限停止位置
下端シートが床に隙間無く接触し、シートに弛みのないこと

① 設定位置調整

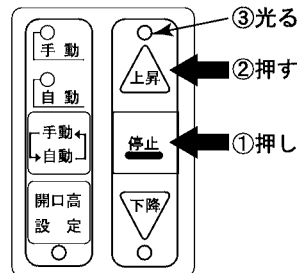


押している間門番はゆっくりと上昇します

押している間門番はゆっくりと下降します

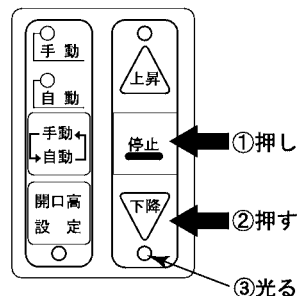
上昇・下降 スイッチを押してシートを上下させ、位置を決める

② 上限停止位置設定



設定したい位置にシートを止めた後、左図のように**停止**を押しながら**上昇**を押してください。上昇ランプが赤く光り、上限停止位置が記憶されます。

② 下限停止位置設定



設定したい位置にシートを止めた後、左図のように**停止**を押しながら**下降**を押してください。下降ランプが赤く光り、下限停止位置が記憶されます。

③ 設定を終了し、運転モードに復帰する

上下限停止位置の設定が完了した後、設定モードから運転モードにし、停止位置を確認してください。

設定モードから運転モードに復帰する方法は、設定モードの状態では**停止**を押しながら**上昇**・**下降**・**開口高設定**・**手動/自動** 全てのスイッチを3秒以上押し続けてください。(①と同操作を行う。)

「ピー」というアラーム音とともにパネル面の全てのランプが光り、手を離すとアラーム音が止まり、運転モードに復帰します。

開口高運転の動作

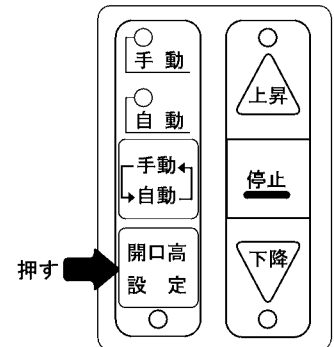
開口高運転とは、上限停止位置より下のあらかじめ設定した位置でシャッターを停止させる機能です。開口高停止位置の設定は次ページの「開口高の設定」を参照して下さい。

開口高運転と解除の切り替えは、操作パネルの開口高設定スイッチで行います。

開口高運転中は開口高設定ランプが点灯し、開口高運転が解除されている場合は開口高設定ランプは消灯しています。

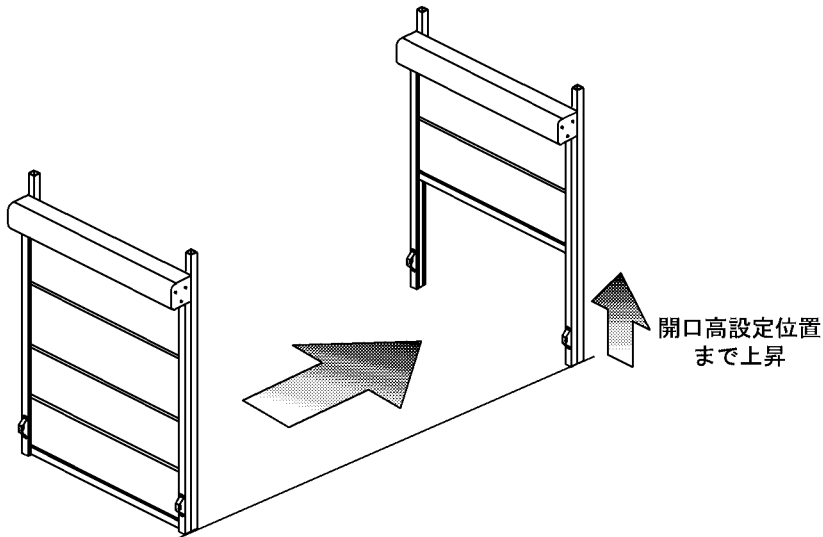
使用例)

- ・人や低いものが通るときは、開口高運転
- ・トラックや背の高いものが通るときは、開口高解除運転

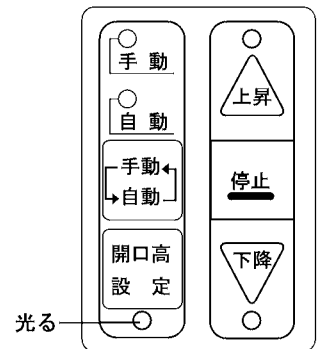


① 開口高運転

センサー・スイッチで上昇し、開口高設定位置で停止します

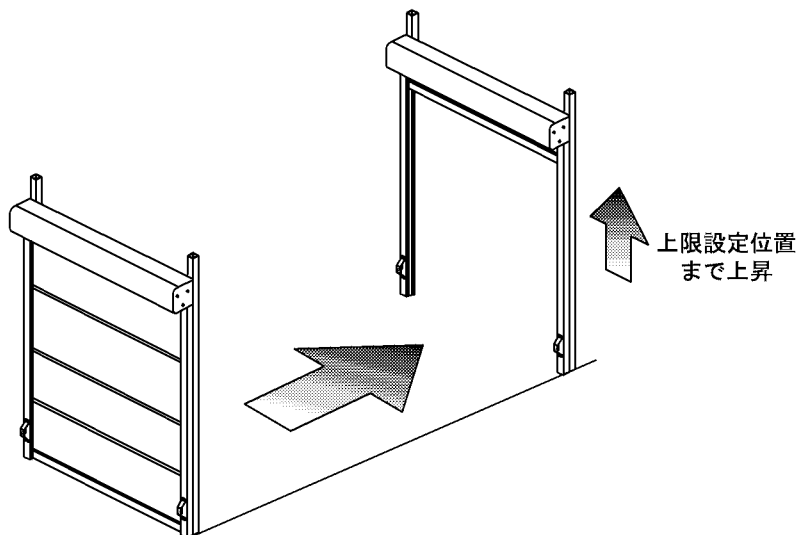


操作パネルの状態

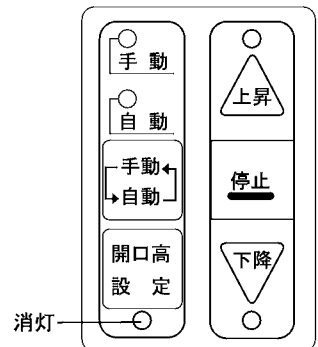


② 開口高解除運転

センサー・スイッチで上昇し、上限設定位置で停止します。



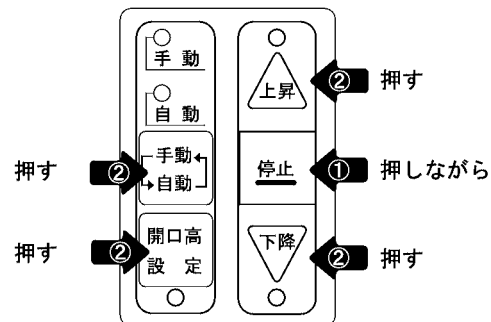
操作パネルの状態



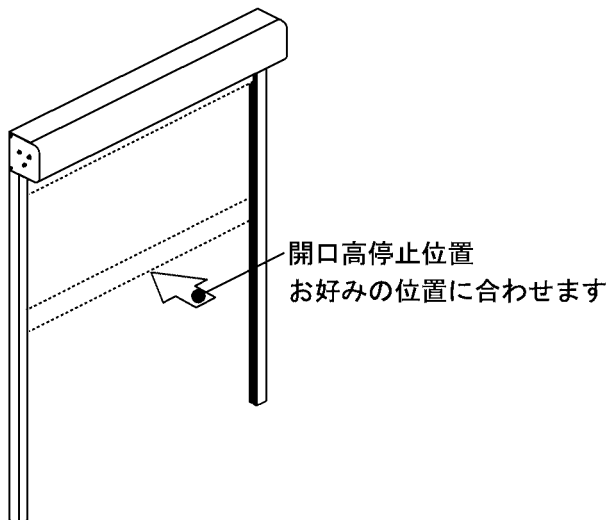
2 開口高停止位置設定

① (運転モード) から (設定モード) に切り替える

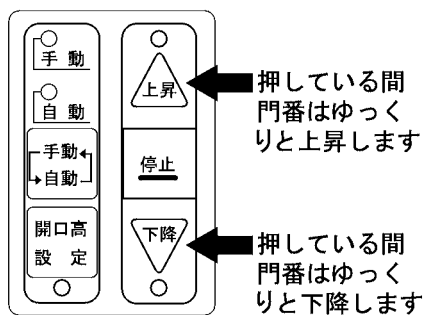
手動 または 自動 のランプが点灯している事を確認の上、**停止** スイッチを押しながら残り全てのスイッチ **上昇** **下降** **開口高** **手動/自動** を同時に3秒以上押し続けてください。「ピー」というアラーム音が鳴ると共にパネルの5つのランプが全て光り、手を離すと全て消え設定モードになります。



② 開口高停止位置の設定

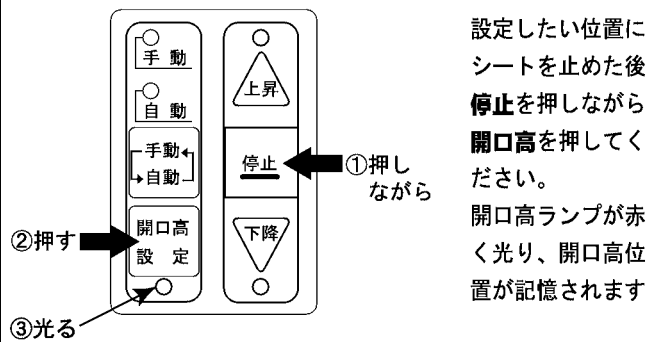


① 設定位置調整



上昇 又は 下降 スイッチを押してシートを上下させ、位置を決める

② 開口高停止位置設定



③ 設定を終了し、運転モードに復帰する

開口高停止位置の設定が完了した後、設定モードから運転モードにし、停止位置を確認してください。設定モードから運転モードに復帰する方法は、設定モードの状態では **停止** を押しながら **上昇** **下降** **開口高** **手動/自動** 全てのスイッチを3秒以上押し続けてください。「ピー」というアラーム音とともにパネル面の全てのランプが光り、手を離すとアラーム音が止まり、運転モードに復帰します。

5 光電管キャンセル位置設定 「必ず設定してください」

光電管センサーキャンセル設定とは

門番の下降動作中、風等の影響で光電管センサーが下端シートを検知してしまう場合、エリア的に検知をキャンセルし、誤動作を防ぎます。

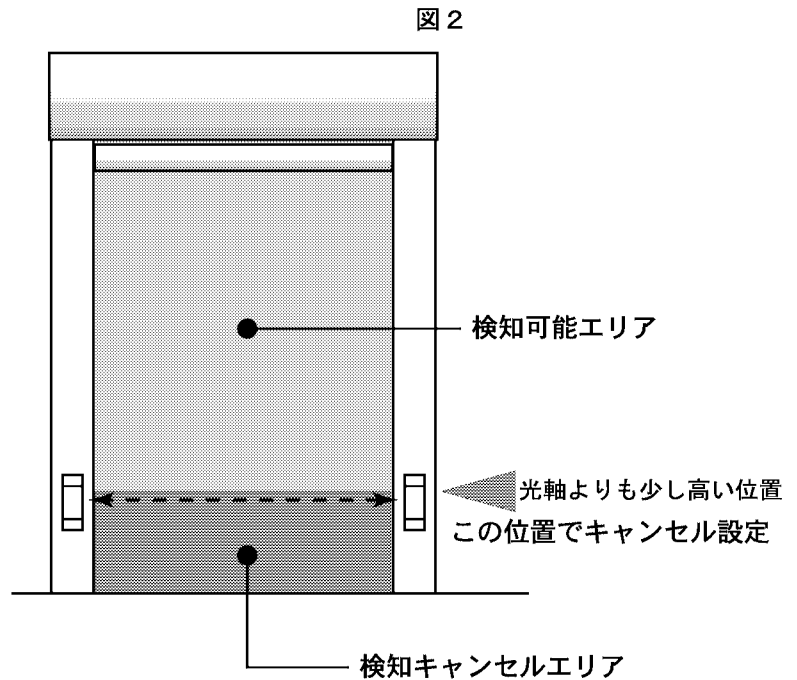
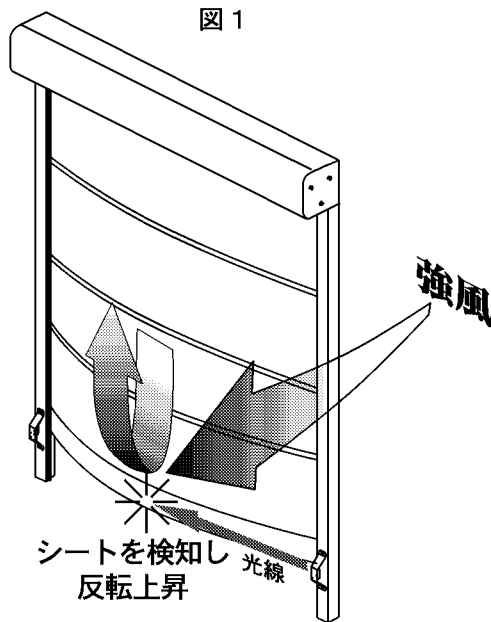
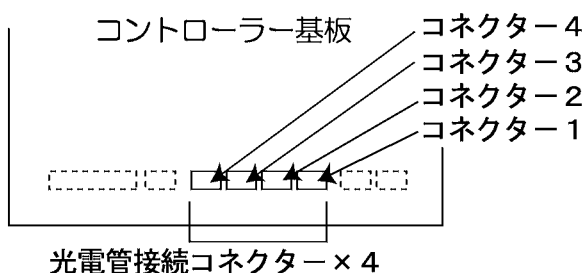


図1のようにシート下降時、強風のため下端シートが光電管センサーの光軸を遮り、反転上昇してしまう場合は光電管センサーキャンセル設定を行うことでこれらの誤動作を防ぐことができます。設定モードで下端シートをキャンセルさせたい光電管センサーの位置まで移動させ、その場所をキャンセルさせる設定を行うことで、図2のように設定位置以下のエリアでは光電管センサーの光軸を遮ってもシートは反転上昇せず、これよりも上のエリアでは検知すると反転上昇します。

光電管接続コネクターとの関係



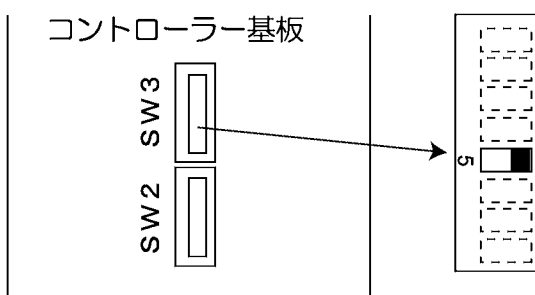
光電管センサーキャンセル設定は、4個あるコネクターに接続したセンサーごとにキャンセルさせることができます。キャンセル設定を行いたいセンサーと、接続してあるコネクターを確認の上で設定を行ってください。

★センサーとケーブル端末にマークを付けておくことでケーブル接続時、識別が容易にできます。



光電管センサーの設置位置が高い場合、検知キャンセル設定を行うと光電管センサーが検知しても門番が反転上昇しないエリアが広くなります。人がくぐったり、通過する物への危険が伴わないかを十分確認してください。場合によっては光電管センサーの設置数を増やしたり、取付位置を変えるなどして誤動作を回避してください。

ディップスイッチの設定

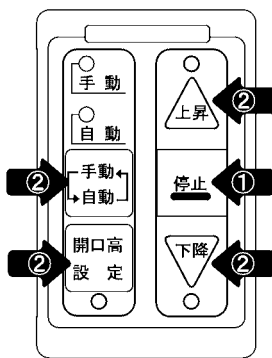


基板のディップスイッチ、SW3の5がONになっているか確認してください。

★OFFになっていますと、センサーキャンセル設定及びキャンセル機能が効きません。

各コネクターごとに接続された光電管センサーのキャンセル設定方法

設定モードに切り替える



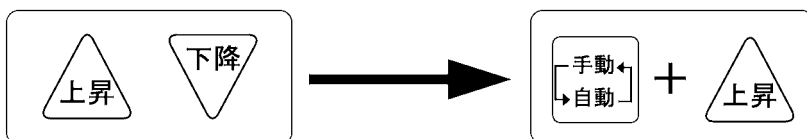
運転モードの状態では、左図のように **停止** を押しながらか **上昇 下降 開口高 手動/自動** の全てのスイッチを3秒位押し続けると「ピー」という音とともに全てのランプが光ります。この後手を離すとランプが全て消え、設定モードになります。

設定時のモニターランプ色

キャンセル設定パターン	モニターランプ色	
	手動	自動
コネクター1 単独設定	赤	—
コネクター2 単独設定	緑	—
コネクター1-2 設定	橙	—
コネクター3 単独設定	—	赤
コネクター4 単独設定	—	緑
コネクター3-4 設定	—	橙

★モニターランプの色によって光電管キャンセル設定の状況を識別できます。(設定モード時のみ)

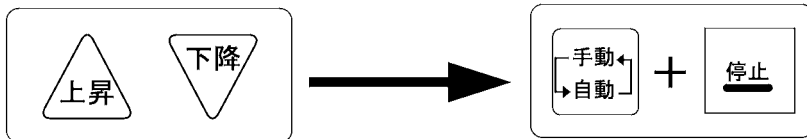
コネクター1に接続した光電管センサーキャンセル設定



センサーの位置まで下端シートを移動させる。スイッチを押している間間番はゆっくり動作し、手を離すとその場で止まります。

手動/自動 を押しながらか **上昇** を押しと **手動** ランプが光り、光電管センサー1のキャンセル位置が記憶されます。

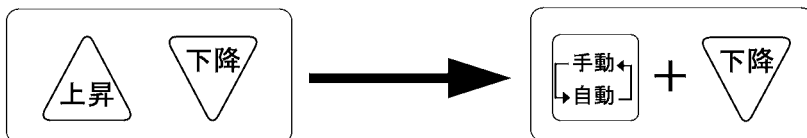
コネクター2に接続した光電管センサーキャンセル設定



センサーの位置まで下端シートを移動させる。スイッチを押している間間番はゆっくり動作し、手を離すとその場で止まります。

手動/自動 を押しながらか **停止** を押しと **手動** ランプが光り、光電管センサー2のキャンセル位置が記憶されます。

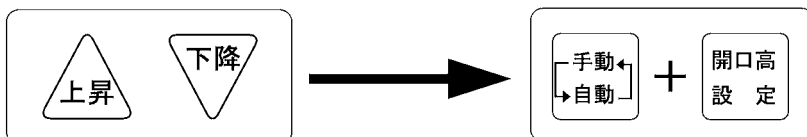
コネクター3に接続した光電管センサーキャンセル設定



センサーの位置まで下端シートを移動させる。スイッチを押している間間番はゆっくり動作し、手を離すとその場で止まります。

手動/自動 を押しながらか **下降** を押しと **自動** ランプが光り、光電管センサー3のキャンセル位置が記憶されます。

コネクター4に接続した光電管センサーキャンセル設定



センサーの位置まで下端シートを移動させる。スイッチを押している間間番はゆっくり動作し、手を離すとその場で止まります。

手動/自動 を押しながらか **開口高** を押しと **自動** ランプが光り、光電管センサー4のキャンセル位置が記憶されます。

運転モードに切り替える

最初の設定モードに切り替える操作と同様に **停止** を押しながらか **上昇 下降 開口高 手動/自動** の全てのスイッチを3秒位押し続けると「ピー」という音とともに全てのランプが光ります。この後手を離すと、運転モードに切り替わります。